

7月13日（水）命

5年生が「命」について、^{いのち} ^{どうとく} 道徳で
^{べんきょう} 勉強しました。

なぜ ^{いのち} 命は大切なんでしょうか。

^{いのち} 命がなくなったら、^{なに} ^{のこ} 何も残らないの
でしようか。そんなことを、5年生

^{かんが} は考えました。

^{だいす} 大好きなおばあさんが亡くなくても、「^{みまも} 見守っていてくれる」

と、この話の主人公は思えるようになります。

^{べんきょう} ^{とお} 勉強を通して、5年生は、^{いのち} 命がなくなっても ^{のこ} 残るものが

^{ある} ことを ^{まな} 学んだようです。思い出、うれしかった ^{きも} 気持ち、

^{こえ} ^{ことば} 声、言葉、（つけてくれた）^{なまえ} ^{えがお} 名前、笑顔、^{いのち} ^{たいせつ} 命の大切さなどが

^{のこ} 残ると、5年生は ^{はっぴよう} 発表していました。そして、^{じゅぎよう} ^{さいご} 授業の最後

には、こんな感想を ^{はっぴよう} 発表していました。

「^{かぎ} ^{いのち} 限りある命だから、^{じぶん} ^{しん} 自分を信じて、いろいろなことに ^{チャ}
^{レンジ} レンジしたい」

「^{かぎ} ^{いのち} 限りある命だから、^{おも} ^{たの} 思いっきり楽しむたい」

「^{じぶん} ^{えがお} 自分もみんなも笑顔でいられるように、^{ぜんりよく} ^い 全力で生きたい」

^{べんきょう} いい勉強をしましたね。

村越 新

